

＜市民ファンド推進プログラム【研修プログラム】構成案＞

【プログラム趣旨】

市民ファンド推進プログラムでは、市民ファンド／コミュニティ財団の着実な発展をめざし、事業の要となる助成活動を応援する【助成プログラム】と、運営の中核を担う人材の学び合いを応援する【研修プログラム】を両輪とし、その運営基盤の強化に取り組む。

【研修プログラムの構成】

＜目的＞

- 運営の中核を担う人材同士の学びあいの場の創出(共に育つ場作り)
- 助成対象団体が専門家や関係者から意見や助言を得られる機会の提供
- 助成対象団体の取り組みを事例に、市民ファンド／コミュニティ財団の運営基盤の強化につながる学びやロールモデルを参加者らと共に見出す
- 市民ファンド／コミュニティ財団関係者間の共通概念や共通言語の検討・共有化

＜全体構成(案)＞

- 研修プログラムは全3回とし、各回については下記の目的に基づく構成とする。

	タイトル	目的	形態	開催時期
①	キックオフ・ミーティング(本日)	助成対象団体・関係者の顔合わせ／集会	セミ・クローズド(※)	2月4日(木) 13:30～17:00
②	シェアリング・ワーキング(未定)	中間時点での進捗・成果の共有／意見交換	セミ・クローズド? 公開?	2016年6月頃
③	ステップアップ・フォーラム(未定)	1)助成成果の共有・発信 2)自立・新たなステップを踏み出すための集会(意見交換)	公開	2017年1月頃

(※)1回目の「キックオフ・ミーティング」は、市民ファンド／コミュニティ財団関係者等を中心に、参加者を限定した形で実施するが、2回目・3回目については、段階を追ってより開かれ場としていく(第3回目については、スポンサーや協力関係者等にも意識的に参加を呼びかけ、多様な関係者が集い交流できる機会とする)

【目標・期待される成果】

- 助成対象団体同士の学びあいから、共に育ち合う関係性や場が自発的に育まれる
- 組織運営基盤の強化につながる学びやロールモデルが共有される
- 市民ファンド／コミュニティ財団に関心のある方々への情報提供・発信
⇒ 支援者・協力者の獲得、関係・協力機関同士のネットワークづくり
- 「市民ファンド推進プログラム」の改良(プログラムの意義や役割、改善点等の把握)